

工賃番号 75

## 広島県事業所工賃向上計画（令和6年度～令和8年度）

作成年月日 2024/4/28

変更年月日

## 1 事業所基礎情報

事業所番号	3411501368		
法人名	特定非営利活動法人玄森会	法人代表者名	嶋田 忠史
事業所名	遠行工房	利用定員	20名
事業所住所	〒720-2412 福山市加茂町大字下加茂669番地1		

## 2 作成者情報

管理者（責任者）	嶋田忠史	担当者	嶋田忠史
電話番号	090-1012-4713	e-mail	shigita@ongvo.org

## 3 目標工賃の設定

月額

※令和6年度から月額のみを設定に変更されています。

## 4 目標工賃

(単位：円)

区分	令和5年度	令和5年度	差額	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標額	実績額		実績-目標	目標額	目標額
月額	43,000	85,079	42,079	85,930	86,789	87,657

(注) 目標額は、国の指針（令和6年3月29日障発0329第42号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）に基づき、次の項目を勘案して設定すること。

- 各事業所の令和5年度の平均工賃実績
- 地域の実情を踏まえ、障害年金と合算して障害者が地域で自立した生活を実現するために必要な収入
- 地域の最低賃金や一般雇用されている障害者の賃金
- 各都道府県の目標工賃

## 5 収支計画（実績）

(単位：円)

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績額	計画額	計画額	計画額	
収支計画（実績）	歳入	30,083,841	30,466,687	30,853,363	31,243,906
	年間売上額	29,088,229	29,379,111	29,672,902	29,969,631
	工賃変動積立金	995,612	1,087,576	1,180,461	1,274,275
	設備等整備積立金	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0
	歳出	30,083,841	30,466,687	30,853,363	31,243,906
	年間工賃支払総額	21,542,084	21,757,504	21,975,079	22,194,829
運営経費	7,454,181	7,528,722	7,604,009	7,680,049	
工賃変動積立金	1,087,576	1,180,461	1,274,275	1,369,028	
設備等整備積立金	0	0	0	0	
その他支出	0	0	0	0	
平均工賃の算出	延べ支払対象者数 (各月支払対象者の合計)①	387			
	年間延べ利用者数②	6,965	6,965	6,965	6,965
	延労働時間③(参考)	38,814	38,814	38,814	38,814
	開所日数④	331	331	331	331
	開所月数⑤	12	12	12	12
	年間工賃支払総額【再掲】⑥	21,542,084	21,757,504	21,975,079	22,194,829
	平均工賃月額(旧算定方式)※ (⑥÷①)	55,664			
平均工賃月額(新算定方式)※ (⑥÷(②÷④)÷⑤)	85,079	85,930	86,789	87,657	
平均工賃時間額(参考) (⑥÷③)	555	561	566	572	

※令和5年度の平均工賃月額は、旧算定方式（参考値）と新算定方式それぞれで算出すること。

※令和6年度からの平均工賃月額は、新算定方式で算出すること。

## 6 就労（生産）活動の内容

### (1) 就労（生産）活動の分野

#### ア 現在行っている就労（生産）活動（令和5年度実績）（複数選択可）

① 菓子製造・販売		⑪ リサイクル事業（空き缶・ペットボトル・プラ等）	
② パンの製造・販売		⑫ 郵便物等の発送（封入・仕分け・発送）	
③ 弁当・惣菜の製造・販売		⑬ 軽作業（部品組立・検品・袋詰・シール貼り等）	
④ その他の食品の製造・販売		⑭ 農作業請負（農作業施設外就労）	○
⑤ 農産物の製造・販売	○	⑮ その他施設外就労	○
⑥ 雑貨製造・販売	○	⑯ PC関係（データ入力・WEB・デザイン等）	
⑦ レストラン・飲食店		その他（下記に具体的に記載）	○
⑧ 印刷		⑰ 請負作業	
⑨ 清掃・洗浄・洗車			
⑩ クリーニング			

※令和5年度に行っていた就労（生産）活動に「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

#### イ 上記のうち、売上上位3位の状況（令和5年度実績）

順位	分野	売上額（円）	活動内容（製品、請負作業等の具体的内容）	施設外就労
1	⑰その他	21,815,424	水田畦畔除草・農繁期収穫作業等請負・樹木伐採・剪定・休耕地除草・墓苑管理・建築工事	○
2	⑥雑貨製造・販売	5,305,776	木製玩具製造販売	—
3	⑤農産物の製造・販売	1,967,029	野菜生産販売	—

### (2) 施設外就労の実施状況

区分	令和5年度実績
実施の有無	有

### (3) 在宅就労の実施状況

区分	令和5年度実績
実施の有無※1	無
在宅利用者の割合※2	

※1 運営規程に在宅で実施する訓練及び支援内容を規定している場合は「有」とすること。

※2 在宅利用者の割合は、毎年度3月の実利用者数に占める常時（利用日数のうち概ね6割程度以上）在宅で実施する訓練及び支援を受けている実利用者数の割合を記入してください。

（例：3月の利用者15名のうち1名が在宅利用者の場合：1名÷15名＝6.7%）

### (4) 農福連携の実施状況

区分	令和5年度実績
実施の有無	有
開始年度	2012年度
農福連携の収入（売上）額（円）	5,715,362
全体売上に占める割合	19.6%

（注）令和5年度の実施の有無を記載すること。

※1 開始年度は実施「有」の場合に記載（例：令和2年度から実施している場合は「令和2年度」、令和5年度から実施している場合は、「令和5年度」、実施していない場合は「—」とすること。

※2 農福連携の収入（売上）額は、実施の有無が「有」の場合は、令和5年度の実績額を記載すること。

7 就労（生産）活動の現状、課題、具体的な取組方策

(1) 現状及び工賃向上での課題（令和5年度の状況）

ア 現状及び工賃向上での課題（総括）

【就労（生産）活動における現状と課題について、具体的に記載してください。】

地域からの依頼を受け出来る事は何でも取り組んでいる。  
利用者の生産性を如何にして向上させるかが工賃向上に係る課題である。

イ 工賃向上のために解決すべき課題事項（複数選択可）

① 魅力的な商品の開発ができない		⑥ 生産性が低下した利用者が増えている	○
② 販売（受注）先が限定されている（新規開拓ができない）		⑦ 作業に入れない利用者が増えている	
③ 商品を作っても売れない		⑧ 職員の作業負担が増えている	
④ 販売（受注）単価が低い		⑨ 職員のスキルが十分ではない	○
⑤ 単独受注が難しい（他事業所との繋がりが無い）		⑩ 企業との連携ができていない	
⑪ その他（ <input type="text"/> ）			

※工賃向上のために解決すべき課題事項に「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

(2) 令和5年度の工賃向上の取組の点検・評価

【令和5年度の目標工賃の達成状況の点検及び評価について、具体的に記載してください。】

概ね達成した。

(3) 令和6年度以降、計画している改善策

※(2)の点検・評価結果を踏まえて記載

ア 工賃向上のために計画している改善策（複数選択可）

① 商品企画力の向上	○	⑥ 作業工程の見直し	○
② 販路開拓		⑦ 利用者のためのICT機器の導入	
③ 販売力の向上		⑧ 職員の負担軽減のためのICT機器等の導入	○
④ 販売価格の見直し	○	⑨ 管理者・職員への意識啓発	
⑤ 他事業所とのネットワークの構築		⑩ 市町・企業、他事業所との連携	
⑪ その他（ <input type="text"/> ）			

※上記の取組点検・評価の結果、工賃向上のために取り組む事項を「○」、その他は、具体的内容を記載の上、「○」を選択してください。

イ 改善に取り組む就労（生産）活動と取組内容（重要な取組3つまで）

1	活動内容	⑩その他
	改善策	⑧職員の負担軽減のためのICT機器等の導入
	改善に向けた取組内容	支援記録をクラウド上のデータベース化し作業の重複を避ける。
2	活動内容	⑥雑貨製造・販売
	改善策	①商品企画力の向上
	改善に向けた取組内容	広く万機公論を蒐集する。
3	活動内容	⑤農産物の製造・販売
	改善策	⑥作業工程の見直し
	改善に向けた取組内容	作業工程を細分化し、適材適所率を高める。

※改善に取り組む活動と改善の具体的内容について、重要と考えるものを3つまで記載してください。

(4) 各年度に取り組む具体的な方策

ア 令和6年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和6年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
生産活動に関する支援記録をスマートフォンからも入力可能なアプリケーションを導入し業務効率を上げ、新商品企画開発・作物ごとの作業工程分析に注力する。

イ 令和7年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和7年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
地域のニーズが高まっている休耕地等の除草作業の生産性を向上させるために、無線コントロールの草刈り機を導入し、オペレーション技術・メンテナンス技術を習得する。

ウ 令和8年度に取り組む具体的な方策

(3)の内容を踏まえ、目標工賃を達成するために令和8年度に取り組む具体的な方策を記載してください。
レーザー加工機を活用し、木工品の付加価値を高める。

(5) 事業所の理念・運営方針の共有

事業所の理念・運営方針について、管理者が中心となり、事業所全職員、利用者及び家族に示し、共有したか。	共有した
--	------

(6) 工賃向上計画の共有

工賃向上計画（PDCAサイクルの確立）について、管理者が中心となり、事業所全職員、利用者及び家族に示し、共有したか。	共有した
--	------

(7) 工賃向上計画の推進体制（責任者及び主な職員10人まで）

責任者及び運営体制	役割		氏名	役職・職種
	1	統括責任者	嶋田忠史	管理者
2	農福連携の推進	山根章	職業指導員	
3	木工商品デザイン企画	三好貴政	目標工賃達成指導員	
4	IOTリテラシー向上	松本慎一	職業指導員	
5	伐採作業技術向上	藤本恭司	生活支援員	
6	除草作業技術向上	井上道明	職業指導員	
7	木工商品作業工程改善	烏田陽子	生活支援員	
8	墓苑管理技術向上	小林雅基	職業指導員	
9	野菜生産技術向上	三島晋	職業指導員	
10				

※令和6年4月1日時点の体制を記載してください。

**8 利用者の状況** ※年度中に事業所を利用した実人数としてください。

(1) 利用者の障害区分 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
身 体 障 害	5
知 的 障 害	21
精 神 障 害	22
発 達 障 害	2
そ の 他	0
合 計	50

(2) 利用者の生活状況 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
独 居	7
家 族 と 同 居	40
施 設 入 所 等	3
合 計	50

(3) 利用者の支援区分 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
区 分 1	0
区 分 2	2
区 分 3	5
区 分 4	3
区 分 5	0
区 分 6	0
非 該 当	40
合 計	50

(4) 利用者の年齢構成 (単位：人)

区 分	令和5年度 実績
18 歳 未 満	0
18 歳 ～ 24 歳	0
25 歳 ～ 34 歳	5
35 歳 ～ 44 歳	13
45 歳 ～ 54 歳	19
55 歳 ～ 64 歳	7
65 歳 以 上	6
合 計	50

**9 利用者の就労（生産）活動への満足度**

利用者が事業所での就労（生産）活動にやりがいを感じているか（利用者アンケート）

(単位：人)

項 目	はい	いいえ	どちらとも いえない	合計
① 就労(生産)活動が続けることで出来ることが増えた	15	5	10	30
② 利用者同士の交流など、仲間との関わりが楽しい	17	6	7	30
③ 困ったときに支援を受けることができ、安心して就労(生産)活動ができている	15	4	11	30
④ 希望に合わせた就労(生産)活動ができるように対応してもらえる	16	4	10	30
⑤ 就労(生産)活動での個別支援計画の目標達成に向けて取り組むことができている	10	7	13	30
⑥ 就労(生産)活動を通じて工賃を貰えることで、やりがいを感じている	22	2	6	30

※令和6年4月1日時点の利用者について、上記項目をアンケートした結果を記載してください。

(注) 各項目の合計人数は一致させるようにしてください。

**<事業所工賃向上計画の変更理由>**

次の理由から、事業所工賃向上計画を変更します。

※各年度、変更後の計画を県に提出する際に記入してください。

変更計画提出日	変更箇所	変更理由